

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和7年度】

1 基本情報

施設名	春日市総合スポーツセンター及び西野球場
指定管理者	三幸株式会社
指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで(5年間)
担当所管	文化スポーツ課スポーツ担当

2 施設情報(休館など)

西野球場は令和7年5月7日から廃止
総合スポーツセンターのメインアリーナは令和7年9月8日から令和7年12月15日まで床の改修のため一般開放を停止
温水プールは令和8年3月15日から3月21日まで機器不具合により休館、またサブプールについて、機器の故障・修繕のため令和7年4月26日から5月15日の期間使用停止

3 利用者数

指定期間	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
年 度	令和7年度	年度	年度	年度	年度
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
利用者数 合計	473,859人				
施設内訳 総合スポーツセンター	471,899人				
西野球場	1,960人				

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	適正に実施されているか	・現地確認 ・事業報告書 ・改善報告書	○	指定管理開始当初は施設の一部に不十分な箇所があったが、迅速に対応しその後は改善され適切に実施された。
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か	・月次報告書	◎	課題となっていた事象への改修箇所の提案を行い、迅速に対応した。 また、屋外競技場の水はけ調査、勾配等の測量等を実施し、不陸修正を行うなど、施設の整備を実施した。
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか	・月次報告書 ・現地確認	○	閉館時間前(早朝)及び閉館中は、適宜指定管理者により巡回を実施し、閉館後は機械警備により対応している。
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か	・月次報告書 ・改修計画提案書	◎	従前から課題になっていた不良箇所についても迅速に改善措置を行った。 施設の危険箇所の確認を行い、駐車場入りスロープ等へのコーナーガードや警告灯の設置など、安全対策を図った。
運営業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・事業計画等どおり実施しているか	・月次報告書	○	滞りなく業務を遂行している。 また、夜間イベント(モルック体験)や広報活動の充実及び館内掲示を活用したコミュニケーション促進の取組など、利用者の施設への愛着増進を図る姿勢が見られた。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・現地確認 ・事業報告書	◎	スタッフ研修を複数回実施しており、サービス水準を維持できるように取組がされている。 またフィットネスプログラムにおいても利用者からのアンケートをもとに内容を精査するなど、利用者のニーズを汲み取ろうとする姿勢が見られ、改善を図った。 施設予約システムの更新に伴う窓口運用の変更の際にも積極的に対応を検討し、円滑な切替に貢献した。
	利用状況の把握	適切な施設の利用状況か	・利用者数 ・施設稼働率 (月次報告書及び実績報告書)	○	温水プールの利用者の減少、西野球場の廃止及びメインアリーナ床改修工事の影響による利用者数の減少があった。
状況経理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・帳票の管理 ・収支状況 ・予算と決算の比較	○	決算がマイナスとなった原因は、指定管理準備期間の事務機器等の導入に係る費用によるものである。
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置 ・継続的なレベルの維持に努めているか	・人員の配置状況・勤務体系 ・実績報告書(4)ア、(5)	○	仕様書に定める人員数の条件を満たしている。
	利用者の苦情・要望等の対応体制	苦情等への対応は適切か	・苦情・要望への対応体制 ・報告書の作成状況	○	施設内に利用者用アンケートBOXを設置し、ご意見、要望を汲み取れるように工夫している。また、ご意見・要望に対する回答については、利用者アンケートBOXの横に回答文書ファイルを設置し、常時閲覧できる環境を整えており、利用者に対応結果を確認できるようにしている。
	危機管理体制の確保	事故・災害発生時の対応はできているか	・訓練等の実施実績 ・マニュアル等の作成 ・実績報告書(4)ウ	○	春日大野那珂川消防本部、文化スポーツ課、スポーツ協会が参画し、9月と3月に防災避難訓練を実施した。
	関係機関・地域との連携体制	連携を図るための組織・体制を整えているか	・定期的な情報交換等の開催実績	○	地元企業と連携したにぎわいづくりの創出、近隣自治会の秋祭りの掲示、教育支援センターに通う児童、生徒の職場体験の実施、中学校授業での職業講話、小学校の校外学習の受け入れ等を行っている。 また、毎月、指定管理者、春日市スポーツ協会、春日市の三者で会議を行っており、施設利用に関するルールや運営に関する情報交換を実施している。 期日前投票所としての会場利用について、積極的な協力姿勢が見られた。

その他		業務引継後、円滑に開館運営が行われたか	・引継に伴う協議 ・現地確認	○	指定管理開始までの準備作業について、短期間で円滑に窓口案内等の切替作業を実施し、業務開始日には大きな混乱もなく安定した運営を行った。
-----	--	---------------------	-------------------	---	--

5 加点項目への評価

評価内容	特記事項
(1) 地域密着への取り組み (2) 利用促進の取り組み (3) 利用者安全への取り組み	(1) 地元雇用を積極的に推進し、地域人材の活躍の場を提供した。また地元企業と連携した賑わいづくりの創出や近隣自治会の「秋祭り」の館内掲示など地域密着の活動を実施した。また、小中学校の施設見学の対応や中学校授業への社員派遣などを実施し、教育活動への協力も積極的に行った。 (2) 従来のパンフレットやウェブサイトのみならず、SNS(インスタグラム)を活用した情報発信やフォロワーへの新キャンペーンなどを通し、施設の情報発信を強化した。また、館内掲示板を活用した季節の装飾やスポーツ漫画企画、館内紹介のほか、来年度に向けた音楽の玉手箱事業のセンター実施に向けた準備など文化活動との協力を行い、新たな利用者の獲得も試みている。 (3) 熱中症対策として「ひと涼みスポット」に積極的に参加し、「クーリングシェルター」として市と協定継続している。

6 総合評価

評価	コメント
B 適正であり、概ね優れている。	・指定管理初年度であり、初期投資のため収支が若干の赤字となってしまったものの、スポーツセンターにおいてはメインアリーナが使用できない期間もありながら利用者数は増加するなど、利用者への利用促進の取り組みが図られていたことがわかる。 ・施設維持管理については、協定内容を遵守し適正に管理されていると判断できる。